

miratap

コンビネーションキッチン

クドハーン

組立設置説明書 01-QDH01S-06

設置前に、この組立設置説明書と商品同梱の各説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
本体や機器に付属の取扱説明書は、設置完了後にお客様にお渡しください。

●安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害、物損）に結びつくおそれがあります。必ずお守りください。

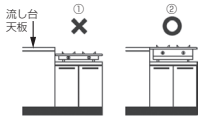
禁止 **実行** **注意**
お守りいただく内容を上の記号で区分し、説明しています。

警告 「死亡または重傷を負うおそれがある」内容

- 分解・改造はしないでください。
思わぬ事故の原因になることがあります。
- ステンレス製ワークトップを取扱うときは、必ず保護手袋をしてください。
切断面に触ると、ケガをするおそれがあります。
- キャビネット・レンジフードなどの設置は、建築壁の構造を確かめて説明書どおりに正しく行ってください。
落下し、ケガをするおそれがあります。
- レンジフード横には不燃吊戸棚を使用してください。
（詳しくは、所轄の消防署へ確認ください）
火災の原因になることがあります。
- 電気工事・ガス工事・水道工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」が行ってください。
火災・感電・ガス漏れ・水漏れの原因になることがあります。
- 組込まれる電気製品・加熱機器・レンジフード・その他機器については、各説明書および本体の表示事項を守り、正しく設置してください。
思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

注意 「障害を負うことや物的損害が発生するおそれがある」内容

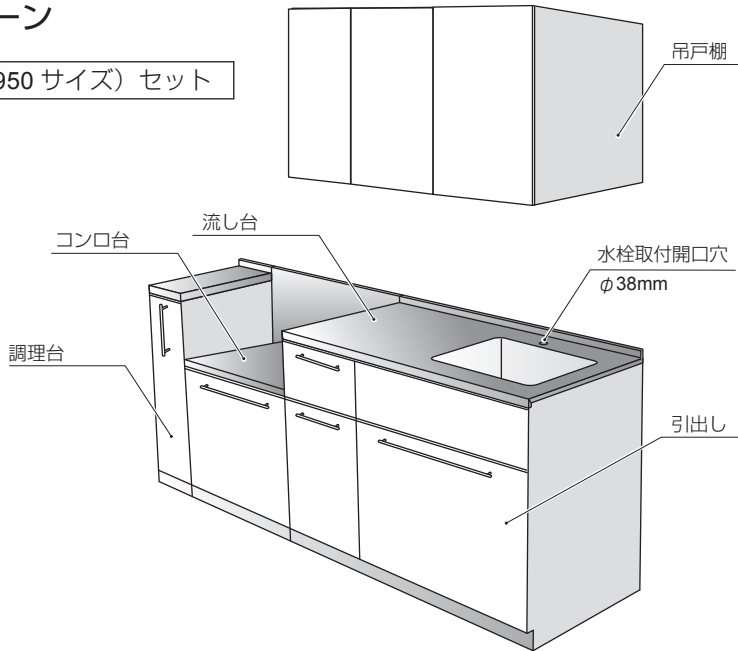
- 排水ホースは、U字型に曲げたり、折り曲げて取付けないでください。
排水能力の低下で、シンクから水があふれ、床を汚す原因になることがあります。
- 防臭キャップ・排水器具・排水ホースの取付けおよび給排水管の接続を確実に行ってください。
水漏れや湿気で、床などが腐る原因になることがあります。
- 設置の仕上げに使用する溶剤・その他薬品類は、各注意表示に従って正しくお使いください。
誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因になることがあります。
- レンジフード・吊戸棚の設置条件は各自治体の条件などにより異なる場合がありますので、詳細は管轄の消防署などにお問い合わせください。
- 組立設置完了後は、扉のがたつきや丁番のゆるみのないことを必ず確認してください。
落下し、ケガをするおそれがあります。
- 棚板を設置するときは、棚受けをすき間のないよう根元まで確実に差し込んでください。
棚板がはずれ収納物が落下し、ケガをするおそれがあります。
- 火災予防のため、ガス台には流し台や調理台のワークトップより低いコンロを設置しないでください。
- やむをえず①のような場合は、流し台（調理台）の側板に防熱板を取付けてください。防熱板についてはそのガステーブルの販売店、メーカーにお問合わせください。



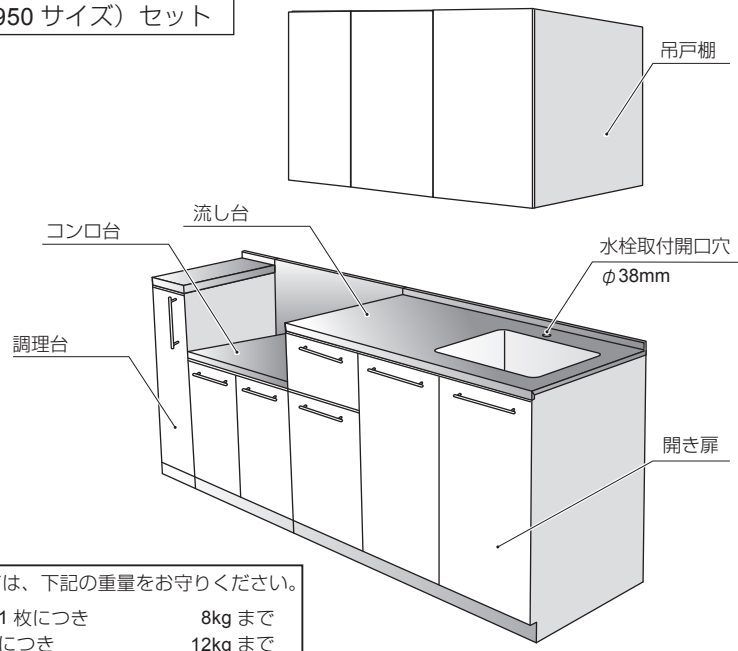
1 各部の名称

◎クドハーン

引出し（1950 サイズ）セット



開き扉（1950 サイズ）セット



耐荷重については、下記の重量をお守りください。
・棚板（底板）1 枚につき 8kg まで
・引出し1ヶ所につき 12kg まで

2 設置前の注意・確認

《設置前のご注意》

- 重量のある商品や荷姿の大きな商品があるため、受取りの準備をお願いします。
また、商品の品質確保のため、搬入は必ず手運びで行ってください。
※ 車上渡しとなります。必ず2人以上で運搬してください。
- 商品の搬入経路を確保してください。
- 商品を開梱して、外観に損傷がないことを確認してください。
※ 設置後の損傷は保証対象外となります。
- 引渡し完了まで、養生材などで商品を養生してください。
※ 養生テープは商品に直接貼らないでください。

《設置前の確認》

設備位置が図面どおりか、以下の項目を確認してください。

- 設置場所の間口寸法・床の水平・壁の垂直・コーナー部の直角度
※ 水平・垂直・角度などの精度が出ていないと仕上げが悪くなり、使用時の安全性にも影響します。
- 窓枠や建具の位置および寸法
- 取付用下地の位置および寸法（桹木 45mm × 100mm 以上の強度のある硬い木材または 12mm 以上の合板）
- 必要な給水給湯管・排水管・ガス配管・電気配線の位置および接続方法
- ガス種・電圧（100V / 200V）・周波数
- レンジフード用の開口（ダクト）の位置および寸法
- 火災予防条例に準拠したレンジフード・コンロの設置場所と可燃物の離隔寸法



キャビネット・レンジフードなどを取付ける取付用下地（桹木 45mm × 100mm 以上または 12mm 以上の合板）が指定どおりに使用されていることを確認してから取付けてください。
（取付用桹木に十分なネジ保持力がなく、使用中に落下し、ケガをするおそれがあります）

●クドハーン付属品【開き扉／スライダー】

	サイズ	クローム鋼板ネジ 4.5 × 63	クローム鋼板ネジ 4.1 × 28	ワッシャ	キャップ	袋	L 型ステン	戸当り	
								開き扉	スライダー
流し台	全サイズ	2	4	6	6	1	1	8	10
調理台	全サイズ	2	4	6	6	1	1	8	10
コンロ台	全サイズ	2	4	6	6	1		8	10
吊戸棚（不燃）	300 ～ 450	4	4	8	8	1		4	
吊戸棚	300 ～ 450	4	4	8	8	1		4	
吊戸棚	600 ～ 900	6	4	10	10	1		4	

3 設置手順



- 取付け時には引出しや扉を取外して作業を行ってください。また引出しや扉に汚れやキズが付かないように養生をして保管してください。
- 引出しを持つ場合は、必ず引出しの側板部分を持ってください。
（左右のパイプ部分を持つと外れて引出し本体が落下し、ケガをするおそれがあります）
- ネジ固定は、締めすぎによる空まわりをしないようにしてください。

1. 吊戸棚・レンジフードの取付け

① 取付用墨出し

仕上り床面を基準に、吊戸棚の下端（または上端）の位置に墨出しします。

② 吊戸棚の壁固定用下穴加工

吊戸棚の背板に壁固定用ネジの下穴（φ 5）を開けてください。

- W600mm 以上：上下計 6 ケ所
- W300/W450mm：上下計 4 ケ所

③ 吊戸棚の取付け

吊戸棚を取付用の墨に合わせて、取付ネジ L63 で壁面へ固定してください。

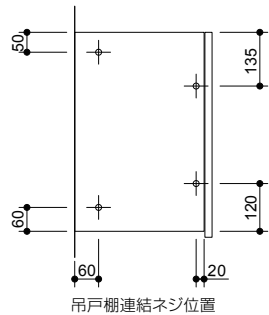
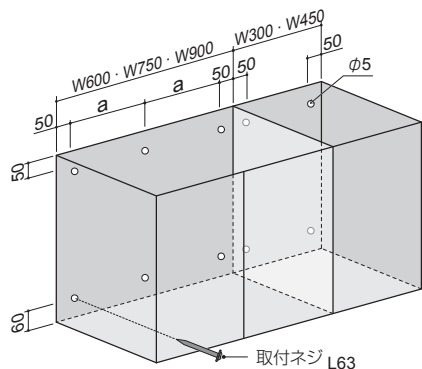
※ 連結ワッシャー・ネジキャップを必ず使用してください。

隣接するキャビネットは前面・底面を面一にして、連結ネジ L28 で固定してください。

※ 連結ワッシャー・ネジキャップを必ず使用してください。連結ワッシャーを使用しないで固定した場合、突き抜ける可能性があります。

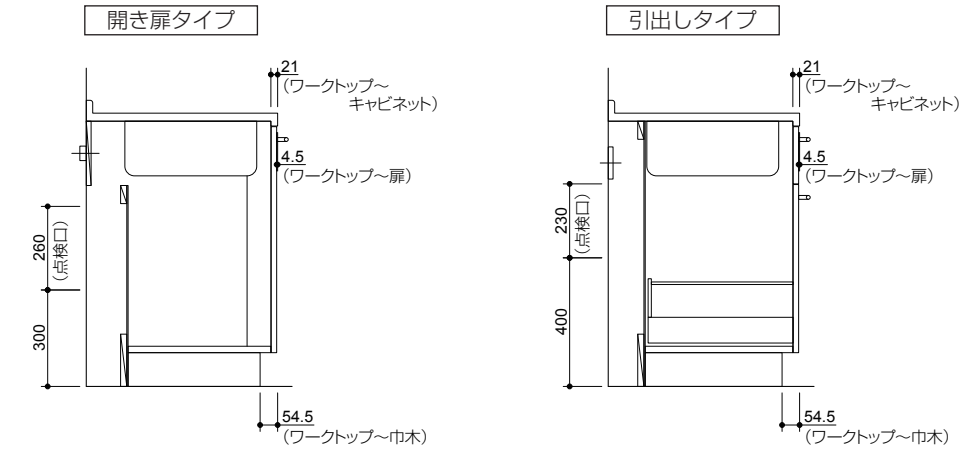
④ レンジフードの取付け

レンジフードに付属の説明書どおりに、正しく取付けてください。



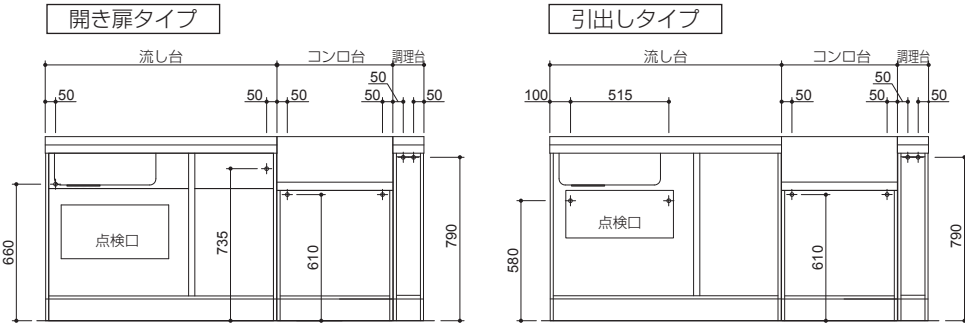
2. ベースキャビネットの取付け

◎ ベースキャビネット詳細設置基準《壁付け詳細納まり図》（単位：mm）



❶ ベースキャビネットの取付用下穴加工《壁固定用下穴位置》

ベースキャビネットの背板に、壁取付用ネジの下穴（φ 5）を開けてください。



❷ 配管・配線の取出し穴加工

ベースキャビネットの点検口または背板に、必要に応じた配管・配線の取出し穴を開けてください。

❸ 水栓金具の取付け

水栓金具に付属の説明書どおりに、正しく取付けてください。

❹ ベースキャビネットの仮設置・キャビネット同士の連結

キャビネットを仮設置し、中央のキャビネットの両側板に連結用の下穴（φ 5）を開けて、取付ネジ L28 で固定してください。

※ 連結ワッシャー・ネジキャップを必ず使用してください。連結ワッシャーを使用しないで固定した場合、突き抜ける可能性があります。

※ 水準器などで水平レベルを確認して連結を行ってください。

❺ ベースキャビネットの取付け

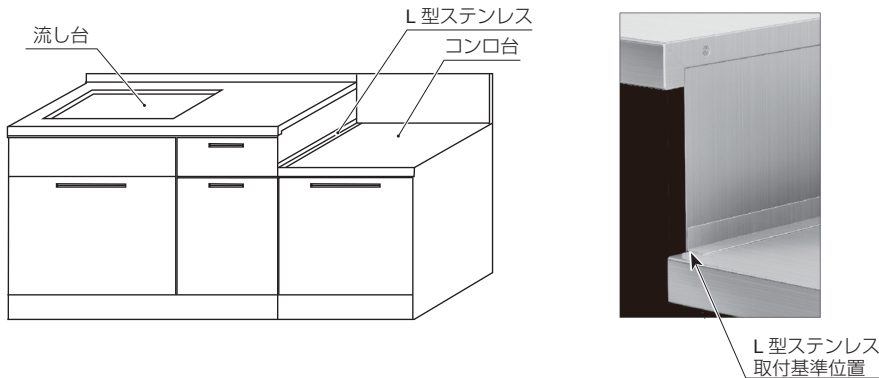
ベースキャビネットの水平レベルを確認して、取付ネジ L63 で壁面へ固定してください。

※ 連結ワッシャー・ネジキャップを必ず使用してください。

※ 配管・配線への干渉がないことを確認してから固定してください。

❻ L 型ステンレスの取付け

流し台とコンロ台を並べて設置する際は流し台のステンレス側板手前に合わせて L 型ステンレスを取付けてください。



3. 機器類の取付け

❶ 各種機器の取付け

各種機器に付属の説明書どおりに、正しく取付けてください。

4 各部の調整

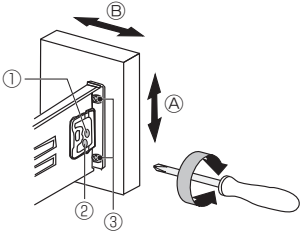
《引出しレールの調整》

左右調整をする場合は、扉の裏にある L 金物を取外してから調整してください。

※ 調整後は再度取付けてください。

Ⓐ 高さ調整（± 1.5mm）

ネジ①を緩めて偏心ネジ②で高さ調整します。
調整後はネジ①を締めて固定します。



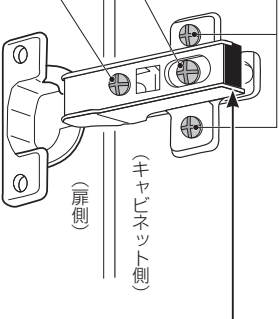
Ⓑ 左右調整（± 1.5mm）

ネジ③を緩めて前板を左右調整します。
調整後はネジ③を締めて固定します。

《扉丁番の調整》

微調整が必要な場合は、丁番のネジ①②③をまわして調整してください。

① 左右調整用 ② 前後調整用 ③ 上下調整用



● 左右調整（扉の目地をそろえる）

① のネジを右にまわすと外方向に、左にまわすと内方向に動きます。

● 前後調整（扉の前後の傾きを直す）

② のネジをまわして、扉の前後調整をしてください。

● 上下調整（扉の上下の片寄りを直す）

③ のネジを緩め、座金本体を上下に動かし、ネジを締めつけてください。

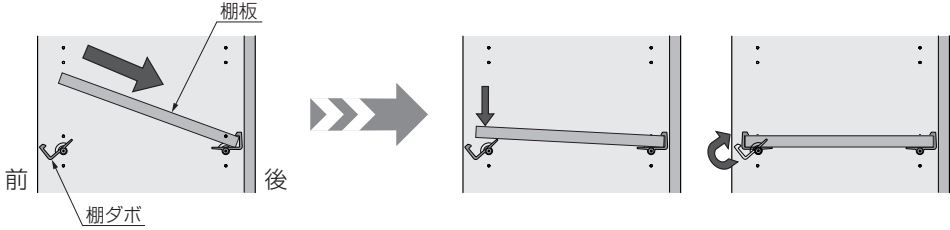
このレバーには触らないでください。
※ 扉が外れるおそれがあります。

❗ ○ ① ② ③ 以外のネジは、さわらないでください。

《棚板の高さ調整》

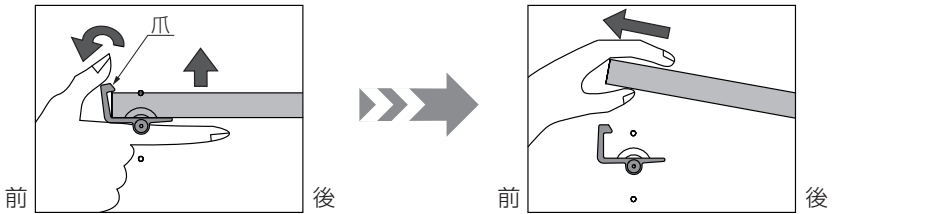
● 棚板の取付け

① あらかじめダボ穴に棚ダボを取付けておき、奥側の棚ダボに棚板を入れてください。
② 上側から棚板をはめ込んでください。



● 棚板の取外し

① 棚ダボの爪を手前に倒し、棚板を持ち上げてください。
② 棚板を斜め上前方に引き抜いてください。



5 設置後の調整・確認

《各部の調整》

設置完了後は、扉などに、がたつき・緩み・傾きがないことを確認してください。調整が必要な場合は、取扱説明書「各部の調整」の要領で調整してください。

《設置後の確認》

● 設置状況の再確認

▪ 棚板・扉が、確実に取付けられていることを確認してください。
▪ 水栓金具・排水器具が、確実に取付けられていることを確認してください。
▪ 通水後、各接続部などに漏水がないか確認してください。
※ 水漏れや湿気でキャビネット・床などが腐食する恐れがあります。

● 設置後のクリーニング

▪ キャビネットや扉のホコリ・汚れは、柔らかい布で拭き取ってください。

miratap

株式会社 ミラタップ miratap inc.

●お客様相談センター 受付時間はホームページにて最新情報をご確認ください。

<https://www.miratap.co.jp>

TEL: 0120-468-838

FAX: 0120-382-096

